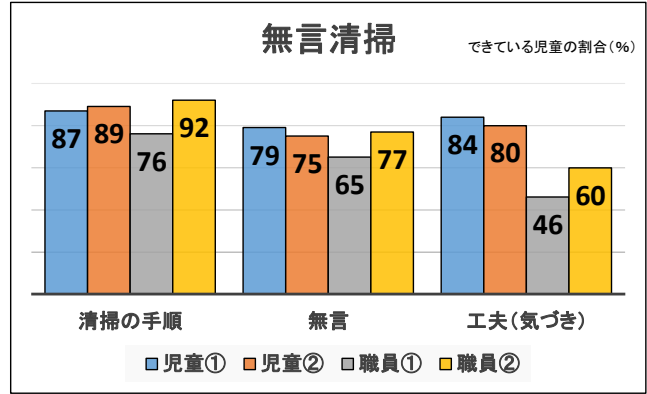
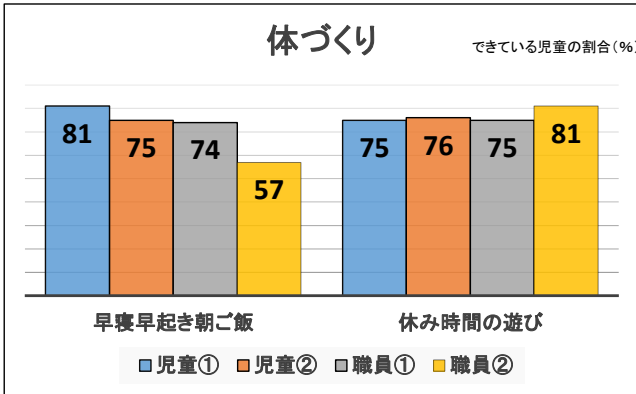
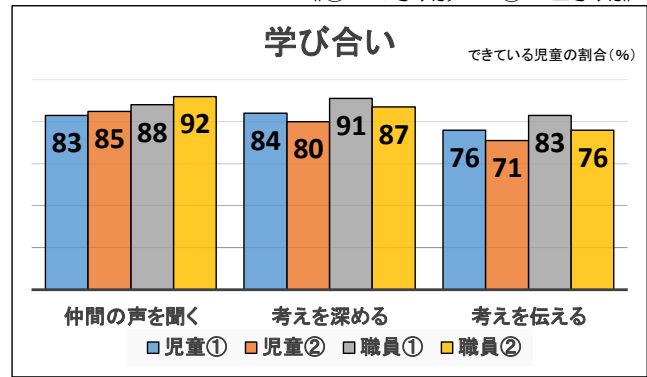
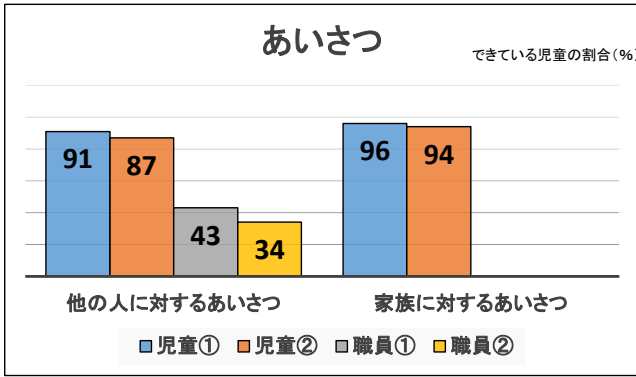


青木小学校 学校評価

1 令和4年度 児童の自己評価・職員による児童の評価（1・2学期の比較）

《①…1学期, ②…2学期》



【重点目標における考察】

○あいさつ (『家族に対するあいさつ』は職員は評価していません)

児童と職員のあいさつの評価に大きな差があります。職員があいさつをするとあいさつを返す児童は増加していますが、自分から積極的にあいさつをする児童はまだ少ないです。相手のことを考えて気持ちのよい挨拶ができるように指導していきます。

○学び合い

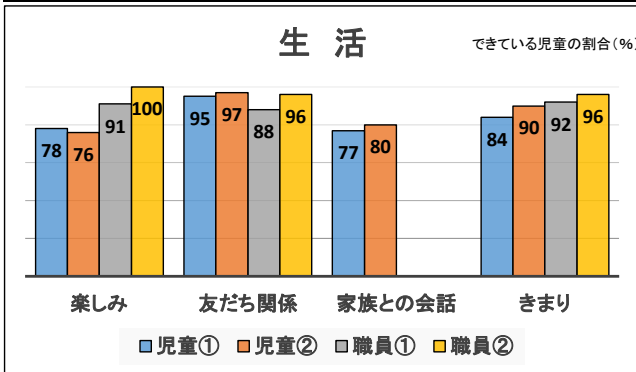
自分の考えを仲間に伝える項目の評価が若干低いです。ペア、グループ、全体による学び合いの中で、自分の考えをまとめ、相手に伝える学習形態を日々の授業の中に取り入れていきます。発表も、声の大きさやスピードを意識させます。

○体づくり

「早寝早起き朝ご飯」の職員の評価が下がりました。家庭でのゲームの時間が多く、睡眠時間が少ない児童の増加を危惧しています。睡眠を十分にとることは、健康や成長に良い影響を与えます。生活のリズムを整えるために、ご家庭の協力をお願いします。「休み時間の遊び」については、校庭でサッカーや縄跳びなどで遊ぶ児童が増加し、活気が出てきました。

○無言清掃

職員による清掃の評価が上がりました。委員会による清掃時の見回りや放送での呼びかけにより、清掃意欲が高まり、清掃の手順を理解し、熱心に活動する児童が多いです。「工夫(気づき)」の項目で児童・職員間でポイントの大きな差が見られます。ていねいな清掃の仕方を指導したり時間が余った際に何に取り組むか決めたりすることで、清掃の質を上げます。

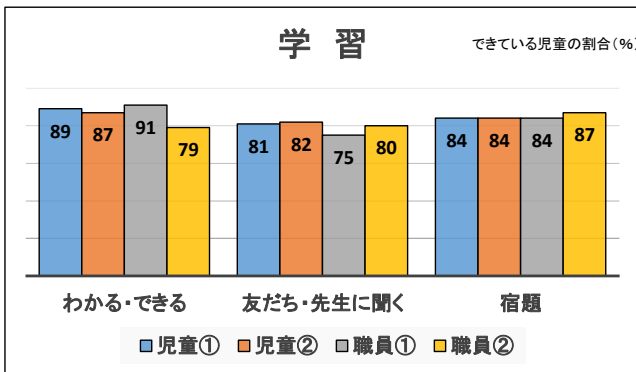


【生活面における考察】 (『家族との会話』は職員は評価していません)

「学校に行くのを楽しみにしている」という質問は約8割の児童が楽しみにしているという回答でした。「友だち関係」はほとんどの児童が満足しています。ただし、友だちの言動で悩む児童もいますので、これからも児童の様子をよく見ていきます。また、ご心配なことがありましたら連絡をください。

「家族との会話」は、高学年になると口数が減少する児童もいますが、大人から話しかけて、関わりを持つことが大切だと思います。

「きまり(ルール)」については児童・職員共にポイントが上がりました。「廊下を走らない」を例にすると、職員の継続的な指導や委員会の呼びかけによりルールが徹底され、今では児童同士が注意するようになりました。自分たちでルールをつくる・守るという自治の意識を少しずつ高めていきます。



【学習における考察】

「学習」については多くの児童・職員共に評価が高いです。今後も100%になるように、児童が興味関心を持って授業に関わる教材の準備、主体的に活動する場面の設定、ICTの効果的な活用を通して、全員ができた・わかったという達成感を得られる授業づくりをしていきます。そして、誰もが安心して意見を出し合える温かい学級づくりをしていきます。

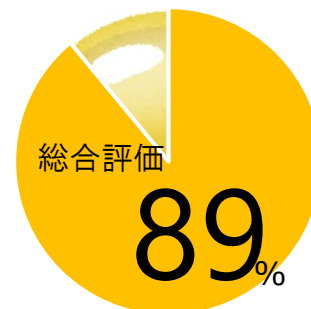
「宿題」については、児童・職員共に評価が高いです。ほとんどの児童が宿題を提出しますが、取り組みの質を向上させることで、学力を向上させていきたいです。全国的に見ると、長野県は家庭学習の時間が短いです。宿題に取り組むだけでなく、教科書を読み直したり、ワークやドリルの問題を解いたりすることで、自主的に家庭学習に取り組んで欲しいです。

あおきっ子を見つめて

学校評価保護者アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。提出していただいた109件中、「そう思う」または「ややそう思う」を総計した結果、総合評価は89%となりました。青木小学校の教育活動に日頃からご理解とご支援をいただいている結果が高い評価に結びついたものと考えられます。

「子どもたちは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。」「子どもは、すすんで体を動かし、遊びや運動に親しんでいる。」この2つの質問は他と比べて評価が少し低いです。原因としては評価アンケート実施直前に新型コロナウイルス感染拡大による休校や学級閉鎖があり、学校での継続的な学びができなかったためと考えています。コロナ禍はまだまだ続くものと考えています。休校や学級閉鎖になっても、学びを継続していけるように、事前に課題を配付し家庭学習に取り組ませたり、タブレットを活用して授業を行ったりすることで、児童の学力の向上を図ってまいります。

これからも生活習慣や学習活動について、多様なアプローチで、子どもたちのサポートを行い、保護者の皆様の高い評価に応えるべく、職員一同、研鑽してまいります。今後とも、ご支援、ご協力をお願いいたします。



体罰に係る調査について

「厳しい叱責で子どもが萎縮してしまう」や「子どもへの接し方が適切でない」等のご意見が数件ありました。

ご心配をおかけして申し訳ございません。今後はカウンセリング研修やアンガーマネジメント研修を実施することで、自分の感情をコントロールする力を高め、児童の気持ちに寄り添った支援や子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように努力してまいります。